

怪龍 (六卷)

帝キネ声屋時代映畫

原作並脚色者

監督者

撮影者

主演者

小坂 老人氏

唐澤 弘光氏

立花 幹也氏

明石 線郎氏

柳 まさ子氏

第二百十八號

紹介

題名から想像すると武勇傳か何かの様に察せられたが接して見ると相も變らぬ勤王佐幕の争ひで例に依つて惱まされた勤王の志士が海賊となつて幕府の御用船を掠奪すると云ふ點が作者は目先を變えた積りだらうか聊か苦しい。お後は勤王の志士の戀の葛藤で退屈な場面を徒らに展開するに過ぎない。唐澤弘光氏の監督もちやちな物語を生かすに至らず六巻は終つて居る龍の助の幻想の件りが此映畫の興味を確かに唆る場面と云へよう。明石線郎氏の龍の助柳まさ子嬢の小菊などこの人達相當の柄だけを見せ

て居る、
—— 山本 綠葉 ——
興行價值——戀にからんだ乱闘劇であるからその積りで扱へば間違はない。(二月二十一日、大阪芦邊劇封切)